

多様性

先週土曜日に住吉小学校で第28回中国語弁論大会が行われ、本校から9名の小学生が参加し、ダンスや詩の朗読を披露してくれました。とても可愛かったです。来月には、テナムの会のメンバーが南民族音楽会に参加し、演奏を披露する予定です。このようにいまみや小中一貫校には中国・韓国など、外国につながりのある児童生徒がたくさんいます。そんな仲間がクラスや学年で協力して学校生活を行っています。これを多様性といい、本校の大きな特色となっています。この当たり前のことがきっと将来のあなたたちの人生に好影響をもたらすと信じています。

今、世界では20以上の戦争や紛争があるとされています。特にウクライナとロシア、イスラエルとパレスチナの戦争は世界や日本への影響は大きく、TV等でも連日放送されています。ロシアやウクライナ、イスラエル・パレスチナにはそれぞれの正義があります。自分たちは決して間違っていないと考えているので、なかなか話し合いでは解決できないのが現実です。もし、これが友達同士のもめ事なら誰かが間に入って話し合ったり、お互いが「ゴメンナサイ」をして解決できるのに、国同士になると難しいものです。

戦争の解決のために日本に住む我々が出来ることは少ないかもしれませんが、しかし、この戦争、そしてその原因をしっかりと知ることはとても大切なことです。そしてどうすればいいのかを考えることも大切です。多様性の富んだいまみや小中一貫校の皆さんにはそれを期待したいです。

これで校長先生のお話を終わります。